

ため池の適正管理と整備促進を！

問 市内の農業用ため池の現状及び今後の基盤整備に向けた取組について問う。

答 市内には、農業用のため池が196か所あり、その約9割を土地改良区、残り個人などが管理している。管理については、農林水産省のため池管理マニュアルや市草刈りなどの通常管理と豪雨や地震時の非常時点検を実施するよう指導している。ため池の整備については、地元の要望に基づき、緊急性などを勘案し、順次、対応することとしている。

問 子どもが健やかに成長する環境を作るため、今後、子育て支援策をどのように進めていくのか。また、児童館が設置されていない小松地区に、新たな子育て支援施設を整備する考えはないか。

答 子育て支援施策については、各種保育サービスや放課後児童クラブ事業の充実を図るとともに、各種支援策や相談体制の推進に努めていきたい。

また、小松地区では、子育て支援の拠点となる施設の整備が望まれており、これまで検討してきたが、整備方法や財政的な問題から実現するに至っていない。今後、地元関係者を含めて検討委員会を発足し、施設の整備について検討していきたい。

どう考える？

郷土の偉人顕彰

問 「台湾電力の父」と呼ばれている松木幹一郎氏の功績を、より多くの市民に周知するため、今後、どのような取組を考えているのか。

答 松木幹一郎氏の顕彰については、平成27年1月に地元（楠河）公民館において、同氏の生涯について講座を開催し、130名を上回る参加があった。更に、3月7日には、西条図書館の市民講座

で氏の業績を広く紹介することとしている。

今後は、地元歴史研究会を中心とした公民館活動などを通じ、資料収集などに努めながら、愛媛県と連携した台湾との交流促進を図り、対外的な顕彰にも取り組んでいきたい。

トラブル回避の

ルールづくりを！

問 子どものスマートフォンなどの使用によるトラブルを避けるため、全国的に使用のルールづくりが始まっているが、本市では、どのように取り組まれるのか。

答 平成27年1月に開催された西条市PTA大会において、子どもたちを携帯電話やスマートフォンなどによるトラブルから守るため、緊急提案を行い、採択された。今後は、PTAや学校、関係機関と連携しながら、アンケートによる現状把握や家庭でのルールづくりなど、さまざまな取組を本格化する予定である。

リベラル西条

代表質問

市の特性を反映させた総合戦略の策定を！

問 平成27年度中に西条市版総合戦略を策定する予定であるが、市の特性や地域性をどのように把握し、総合戦略に反映させるのか。



特性に応じた地域づくりを

答 西条市版総合戦略の策定については、市民、産業界、行政機関、教育機関、労働団体などの代表で構成を予定しているまちづくり市民会議において、国が示す地域経済分析システムの将来人口や、人口流出などのデータを基に、安定した雇用の創出、交流人口の増加、結婚・出産・子育て支援などの政策の方向や目標、具体的施策について審議・検討を行う予定である。

また、市と議会が両輪となって進めることが重要であると考えていることから、議会の参画についても今後、協議していきたい。

一般質問

発達障害児の療育に対する支援体制は？

問 市は、発達障害児を専門に療育する施設を、率先して整備する必要があると考えるが、市内施設の現状と今後の整備方針について問う。